

アサギマダラ的生活

原点に帰って考察しよう

◎ 自然は、我々の知性にとっては限りなく驚嘆すべきことを、最高度の容易さと単純さで行っている！

— ガリレオ・ガリレイ — (1564~1642)

◎この言葉を、驚異的なアサギマダラ的生活に当てはめて考察してみようという提案である。

海を渡ることの驚異

- その第一は、何と云っても長距離飛翔と、海を渡ることの驚異であろう。
- 2015年の秋には、27頭ものアサギマダラが台湾で再捕獲された。
- 0.5 g にも満たないアサギマダラが、2000kmを超える旅をするのは、地上で生活する私たちにとっては、まさに驚異的な事実である。

アサギマダラの棲息する世界

- 地上で生活する私たちは、地上から見えるアサギマダラしか見ることはできない。しかしアサギマダラは三次元の空間に生きている。
- アサギマダラは、気温により棲息高度を変え、それで足りなければ緯度を変える。その移動方法はもっぱら風に依存するところが多い。
- 都合のいいことには、春から夏にかけては南風が吹き、秋から冬にかけては北風が吹いてアサギマダラの生活を助けている。
- 日本列島に沿って流れる黒潮の上には、上昇気流が生じて、長旅の負担を軽くしている。

“最高度の容易さと単純さ”

- アサギマダラの驚異的な旅に見られる“最高度の容易さと単純さ”は、自力に依らずに風を利用することで行われている。
- 風は移動を助けているだけではない。PAや、蜜源・食草のありかを教えてくれるのも風である。
- 太陽の輻射熱によって発生する斜面上昇風は、高温から逃れて高地に移動するのに実に都合の良い風であった。
- アサギマダラにとって都合のいい風は利用するが、不都合な風の時には飛ばないというのが、その単純さだ。
- ガリレオは、三百数十年前に、すでに自然の本質を見抜いていたようだ。